

東海理化、STATION Ai が推進する 「製造業向けフィジカル AI データエコシステム構築事業」に参画 ～製造現場の知見を活かし、フィジカル AI*1 の社会実装を目指す～

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長：二之タ 裕美）は、STATION Ai 株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長 兼 CEO：佐橋宏隆、以下 STATION Ai）が推進する「製造業向けフィジカル AI データエコシステム構築事業」*2 に参画します。

本事業は、経済産業省と NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)が主導する、国内の生成 AI の開発力の強化と社会実装の加速を目指すプロジェクト「GENIAC (Generative AI Accelerator Challenge) *3」の支援を受けて実施される研究開発プロジェクトです。STATION Ai を代表実施主体とし、製造現場における作業者のマルチモーダルデータ*4 を収集・活用することで、フィジカル AI ロボットの学習に必要なデータエコシステムの構築を目指します。事業期間は 2026 年度から 2028 年度のうち最大 2 年間で予定しています。

製造業では、人手不足や技能継承への対応が重要な経営課題となる一方、組付け、検査、部品供給などの工程では熟練技能者の経験や感覚に依存する作業が数多く存在しています。こうした工程の自動化・高度化に向けて、フィジカル AI への期待が高まっています。

当社は、自動車部品メーカーとして培ってきた生産技術や製造現場の知見を活かし、多品種の小型部品を高品質かつ効率的に取り扱うためのノウハウと先進的な AI・ロボティクス技術を組み合わせ、フィジカル AI の実用化に向けた実証を進めます。将来的には適用領域を拡大し、製造現場の生産性向上と技能継承課題の解決に貢献してまいります。

*1 フィジカル AI…AI を組み込んだロボットや機械が、製造作業者に代わって自分で判断・行動する技術

*2 本事業に関する STATION Ai のリリース…<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000123.000095825.html>

*3 GENIAC について…<https://geniac.meti.go.jp/>

*4 マルチモーダルデータ…異なる情報形式（モダリティ）を組み合わせることで解析や生成を行うためのデータ

※本事業には、当社の他に、製造業パートナーとして愛三工業株式会社、CKD 株式会社が参画します。

- ・ STATION Ai 株式会社 <https://stationai.co.jp/>
- ・ 愛三工業株式会社 <https://www.aisan-ind.co.jp/>
- ・ CKD 株式会社 <https://www.ckd.co.jp/>